

2024.6.28 (FRI)

→ 6.30 (SUN)

会場 熱田神宮 文化殿

主催 株式会社 青藍社

熱田芸術祈願祭

みこと

MIKOTO NO MORI

社の





国家鎮護の神宮 特別な神域

西暦113年の創建から1900年以上もの歴史を持ち、数多の神話が語り継がれる古社、熱田神宮。樹齢何百年を超える樹々が生き茂った熱田の杜の中に、三種の神器の一つである草薙神剣(くさなぎのみつるぎ)をご神体とする熱田大神が鎮まり、年間700万人を超える全国の参拝客から「心のふるさと」として、伊勢神宮に次ぐ格別に尊いお宮として知られています。ご祭神の熱田大神とは、天照大神(あまてらすおおみかみ)のことであり、皇室の御祖神とも至高至貴の神とも仰がれており、人々に家内安全・無病息災といった、慈しみの徳を与えてくれます。

6万坪の境内には、その天照大神の荒魂が鎮まる一之御前神社(いちのみさきじんじゃ)や、弘法大師お手植えと言われる樹齢千年を超える大楠、桶狭間の戦いで今川義元を破った織田信長が奉納した日本三大土塀の一つ、信長塀など、貴重な歴史の遺物が今も残され、静寂な参道を歩くだけで身が清められるような空気に満たされています。また、宝物館には皇室をはじめ、全国の崇敬者から寄せられた奉納品が6,000点以上も収蔵展示

されています。そのうち、170点以上が国、及び愛知県の指定文化財に登録されている貴重な品々であり、刀剣類、古神宝類、十二の舞楽面、菊時絵手筈、熱田本日本書紀、法華経涌出品等の貴重な宝物は常設で公開されています。特に草薙神剣がおさめられていることから刀剣の数は多く、歴史を彩った多くの宝刀が収蔵され、訪れた人々を楽しませています。

熱田神宮は年間約70もの様々な祭事、神事が行われていますが、特に6月上旬に開催される「熱田祭り」では天皇陛下の勅使が参向し、境内で武道や芸能が奉納され、弓道や相撲、茶道や俳句など日本の伝統芸能が催されます。夕方になると、多くの提灯が吊るされた「献灯まきわら」が灯り、風情ある光景が広がります。近隣の熱田神宮公園から約1,000発の花火も打ちあがるので、夏の風情と伝統文化を同時に体験できる貴重な機会ともなります。

今回は皇室とも縁深く、日本を代表する御宮である熱田神宮にて、古来からの文化である日本芸術を展示する貴重な機会を頂けることとなりました。

伝説の神剣と古代日本の神々

神話の時代より受け継がれ、皇室の皇位継承に重要な役目を持つ三種の神器。それぞれ知、仁、勇を象徴し、鏡は伊勢神宮に、勾玉は皇居にあるとされていますが、神器の一つである天叢雲剣(あまのむらくものつぎ)、通称・草薙神剣の御本体がおさめられているのが熱田神宮です。

日本神話によると、出雲の国に降り立った素戔鳴尊(すさのおのみこと)が八岐大蛇(やまたのおろち)を退治した際に、その尾から出てきた剣を天照大神に献上し、代々受け継がれていったことで皇位継承のシンボルとなりました。そして、素戔鳴尊は出雲の須賀宮(現・島根県雲南市)にて、大蛇から救った櫛名田比売(くしなだひめ)と結婚しますが、その時に「八雲たつ 出雲八重垣 妻ごみに 八重垣つくる その八重垣を」という歌を詠んだとされ、それが日本最古の歌であり、和歌の起源とされています。その後、第12代景行天皇の命で東国平定にでていた日本武尊(やまとたけるのみこと)は駿河の国で賊に火を放たれますが、この剣で周辺の草を薙ぎ払い、向かい火を放ち、賊を返り討ちにしました。のちに、火で焼いたことからこの地を焼津と言ひ、そして草を薙ぎ払った神剣が草薙神剣と呼ばれるようになったと言われ、日本武尊の死後に熱田の地に祀られることになりました。

他にも、唐が日本に攻めようとした時、日本の神々が集まって協議し、熱田大神が楊家に生まれ、楊貴妃として皇帝をたぶらかして日本攻めを思いとどまらせた楊貴妃伝説や、大宮司の孫であった鎌倉幕府初代将軍源頼朝、戦国三英傑(織田信長、豊臣秀吉、徳川家康)との縁など、多くの神や歴戦の武将との関わりが、今日のパワースポットとしての人気に繋がっています。平安時代末期の歌人で全国を旅した西行法師も、熱田の地に寄り、「かくばかり 木陰すずしき宮立ちを 誰が熱たと名づけ初めけむ(こんなに涼しいこの宮を誰が熱田と名付けたのだろうか)」と、ユニークな和歌を詠みました。

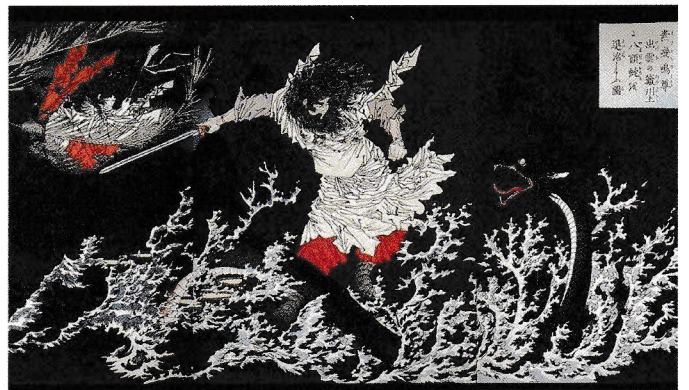
迷いや煩惱など、負の要素を「薙ぎ払う」といわれる神剣と、慈しみの徳を与えられる最高神、天照大神にあやかり、人の心の鏡である芸術作品を通じて困難な現状を打破する祈りを捧ぐべく、【熱田芸術祈願祭 みことの杜】を開催させて頂くこととなりました。



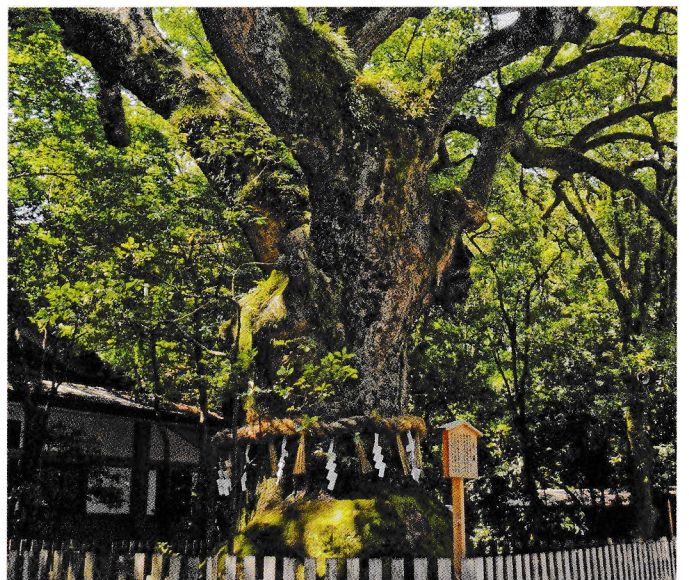
一之御前神社



熱田祭り



スサノオ大蛇退治



熱田神宮 大楠



南神池



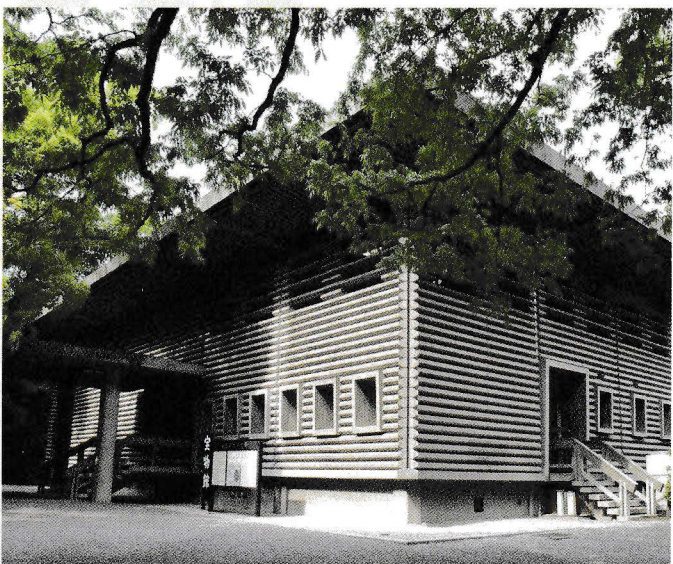
草薙館



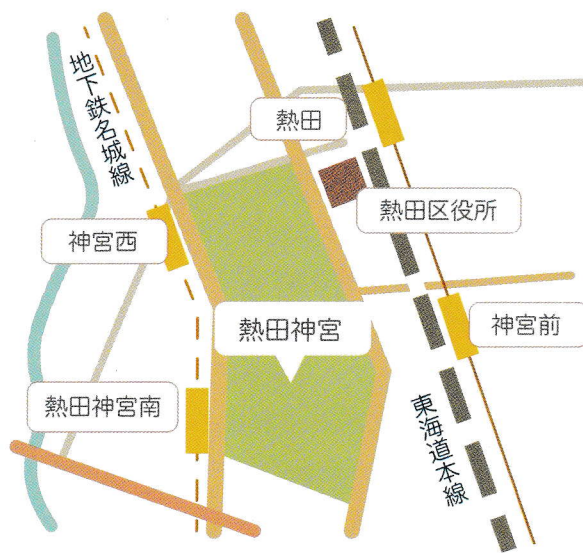
熱田神宮 鳥居



新嘗祭



熱田神宮文化殿



青
藍
社

SEIRANSHA CO.,LTD

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 7-1-12 クロスオフィス新宿 310

TEL 03-6908-5870 FAX 03-6908-5875